



## Asian Productivity Organization “The APO in the News”

Name of publication: Singapore Keizai Shimbun (18 March 2013, Singapore)

Posted on: 19 March 2013

Page: <http://singapore.keizai.biz/headline/5509/>

### 星で「エコプロダクツ国際展」－日本政府・環境省の助成によるパビリオンも



[この記事の場所を見る](#)

(2013年03月18日)



[写真を拡大](#)

「Sands Expo & Convention Centre Marina Bay Sands」(10 Bayfront Avenue)で3月14日～16日、「第8回エコプロダクツ国際展 (Eco-Products International Fair 2013)」が開催された。

**【画像】日系企業が多数出展**

日本政府・環境省の助成によるジャパン・パビリオンも出展

同展は2004年にマレーシアで初開催以来、国際機関アジア生産性機構 (APO) 加盟国で毎年巡回実施され、シンガポールは2006年以来2回目の開催。経済的・環境的に持続可能なアジアの発展を目指し、シンガポールとアジア諸国のパブリックに対し、エコプロダクツを活用することによる環境負荷軽減への意識向上と啓蒙を行う。

今回は「ONE ENVIRONMENT, ONE FUTURE: Towards a Sustainable and Greener Asia」をテーマに、加盟国各国からエコプロダクツ、エネルギー、自動車 (ハイブリッド車・燃料電池自動車・タイヤなど)、住宅・建築資材、廃棄物管理、水管理などに関する製品や技術を紹介する約100社が出展。日本からは三井住友銀行、帝人、日立製作所、三菱電機、プリチストンなど25社以上の企業が参加した。

会場にはアジアの政策担当局や産業界のリーダー、専門家、環境保護支持者が多数来場。国際会議やセミナーも展開され産業界のリーダー・専門家らがスピーカーとして登壇した。「これまではBtoCを主軸に置いてきたが、今回からはビジネスマッチングやセミナーなどに注力してBtoBの展開が広がるような場をこれまで以上に用意している」と同展広報担当の藤本陽子さん。

今回は日本政府・環境省の助成によるジャパン・パビリオンも出展。「廃棄物処理」をテーマに、インフラ・技術を開発する民間企業10社と日本における廃棄物処理の制度づくりなどを紹介し、環境省として国際会議にも登壇した。来場した環境省・谷津龍太郎地球環境審議官は「シンガポールは環境問題に熱心に取り組んでいる。シンガポールと日本は廃棄物分野の協力協定に調印しており、今回はシンガポール政府の要人ともお会いしてどういった協力体制ができるかを話し合う予定。経済発展を遂げたシンガポールは日本のパートナーとして最もふさわしいと考えている。廃棄物処理技術と制度政策がオールジャパンとしてタッグを組んでインフラ輸出できれば」と話す。